演習Ⅰ

担当者 西嶋　淳

開講時期 通年　　**単　位** 4

●講義の概要

地域における具体的な社会・経済事象を題材に取り上げ、経済学的視点を中心に調査、実証分析、討論などを行うことにより、問題解決型の思考方法の習得を目指します。

●講義の到達目標

研究テーマに関する文献・資料の検索・収集・整理など修士論文の作成に必要な基礎的研究能力を習得します。調査、実証分析などの実践により、経済分析手法の基本が理解できるようになるとともに、これらについての討論などを通して問題解決型の思考習慣を習得することを目標とします。

●講義計画

前期は、テキストの輪読を通じて題材に対する各自の問題意識を深めてもらいます。後期は、各自の問題意識に即して研究テーマを設定し、指示された文献についての発表、調査や実証分析などの経過報告、討論などを通じて研究の内容を充実させながらレポート作成を進めてもらいます。

●成績評価基準と方法

①評価方法

発表・討論（50%）、期末レポート（50%）により評価します。

②評価基準

・修士論文の作成に必要な基礎的研究能力を習得しているか。
・経済分析手法の基本を理解しているか。
・問題解決型の思考方法により社会、経済事象に関する問題点を適切に説明できるか。

●テキスト又は参考文献

―テキスト―

受講生と相談のうえ選定します。

―参考文献―

講義中に適宜指示します。

●受講上の留意点

・指示に従い、講義時に円滑に報告・討論ができるようにレジュメ等を準備して下さい。
・積極的に調査、実証分析などに取り組むことを期待します。